

京都女大家政	土井サチヨ
	勝谷 弥生
	山名 信子
	高橋 純
	○田中 絹江

1. 私どもは美しい人体育成の目的をもって、発達過程におけるファンデーションの正しい用い方と、寸法について検討するために、女性の著しい成熟を示すと思われる中学生・高校生について、身体計測を行なってきた。

今回、中学校女子生徒に関する計測の機会を得たので、この成績と昭和37年の成績とを比較し考察を試みた。

2. 被計測者は京都女子中学生1年81人、2年77人、3年78人の合計236人で、昭和41年7月に計測したものである。

計測は104項目について実施したが、今回は女子の成熟過程を考察するに必要と思われる胸囲、胴囲、腰囲、乳頭高、下部胸囲高、腰囲高、胸部横径、胴部横径、腰部横径、胸部矢状径、胸部包囲矢状径、胴部包囲矢状径、腰部包囲矢状径、乳矢高、また身体比例を把握するために身長、全頭高、前胴高、膝関節高、下肢長、および体重の合計20項目について検討を行なった。

3. 計測値においては全般的に前回よりもやや優れた成績を示した。

増加率を前回と比較すると、1年から2年、2年から3年にかけて周径項目の胸囲、腰囲に著しい増加があり優れた結果が認められた。長径項目では差異がなく傾向は前回と同様であった。